



# 第20号 は～とふるだより

令和2年6月1日発行  
訪問看護ステーション  
は～とふる多摩センター  
多摩市愛宕 4-6-25-102  
TEL 042 (356) 2082  
FAX 042 (319) 6567

## 新型コロナウイルス禍の中、「は～とふる」は『開業3周年』を迎えました



皆様にお支えいただきながら、『訪問看護ステーションは～とふる多摩センター』は、令和2年6月1日に開業3周年の節目を迎えることが出来ました。医療介護事情が著しく深刻な多摩ニュータウンにおいて、当時実績もなく新規参入した私たちを信じて温かく受け入れてくださり、ここまで育ててくださった医療・介護関係の皆様、近隣地域の皆様、本当にあ



は～とふる多摩センターは、多摩市の『健康まちづくり』に賛同し、応援しています。

りがとうございました。そして何より、在宅の現場で私たちを快くお家の中に入れてくださり、看護を通じて多くの学びと喜び、仕事の難しさ、生命の尊さを教えてくださったすべてのご利用者様に最大限の感謝と尊敬を申し上げたいと思います。現在、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、社会全体が先の見えぬ不安に包まれ、在宅現場にも少なからず影響しております。ご利用者様の中からも頻繁に不安の声をうかがうことがありますし、当事業所の看護師スタッフも様々な対策を講じて警戒しております。しかし、この状況は、4年目に入る私たちにとって、い



ま一度足元を見直し、今取るべき行動を考えるうえで大きなきっかけになっていると思っております。大切なのはまず『普段通りの看護サービスを確実に、丁寧に、真心を込めてご提供すること』です。そのためには感染症対策の意識向上を図り、そして当事者とそのご家族様含め関係者全体の不安に心を寄せる姿勢を崩さぬ



ことが何より重要と心得ております。医療者として『安心、安全』の軸を誤ることなく、皆様の『想い』に耳を傾けて日々行動して参ります。また、今回の新型コロナウイルスは、『基礎疾患を抱えている』『高齢者様』にとっては医療者による健康管理が特に必要な感染症であり、在宅のご利用者様のほとんどの方が該当いたします。在宅看護が持続的に実施できるよう、今後も



写真掲載した以外にも多くのご寄付がありました。温かいお気持ち、誠にありがとうございました。

感染症対策はもちろん、地域の他職種の皆様と連携を確実に取りながら現場に赴きます。今回の騒動の中で、私たちは『人の心の温かさ』を深く感じております。物心両面にわたり多くの方から真心こもった応援をいただいております。特に、地域の皆様や知人関係の中には、マスクやフェイスガードをご寄付くださった方々もいらっしゃいました。いただいた物資はひとつも無駄にすることなく現場に活用させていただきま。スタッフ一同、ここに深く感謝の念を申し上げます。そして皆様には引き続き、4年目の『は～とふる多摩センター』を温かくお見守りいただきたく存じます。今後ともなにとぞよろしくお願い申し上げます。



## 新人看護師のご紹介（非常勤）宗像 雅美（むなかた まさみ）

京都市出身です。准看護師になって療養型病院で約3年間勤務しておりました。いま在宅医療の必要性が高まるなか、訪問看護に携わりたいという想いが強くなり、このたび『は～とふる多摩センター』に入職いたしました。訪問看護経験も浅く、まだ至らない点もあることと思いますが、1日も早くご利用者様に必要なサポートを行えるように精いっぱい努力したいと思います。笑顔と真心を忘れずがんばります。どうぞよろしくお願いいたします。



新型コロナウイルス騒動の最中に入職してくれた、在宅への思いがとても強い宗像さんです。初めてのお宅訪問でも物怖じせず堂々と業務をこなして下さり、頼りになる即戦力の仲間です。今回は警戒態勢下での撮影でしたのでマスク着用でのご挨拶ですが、素顔は秘密ではありませんので(笑)、お会いした際にはどうぞよろしくお願いいたします。【北川より】